

③土壌調査結果（平成 30 年度調査）



写真 5-22 地表面の状態



写真 5-23 土壌断面

表 5-22 土壌断面調査結果

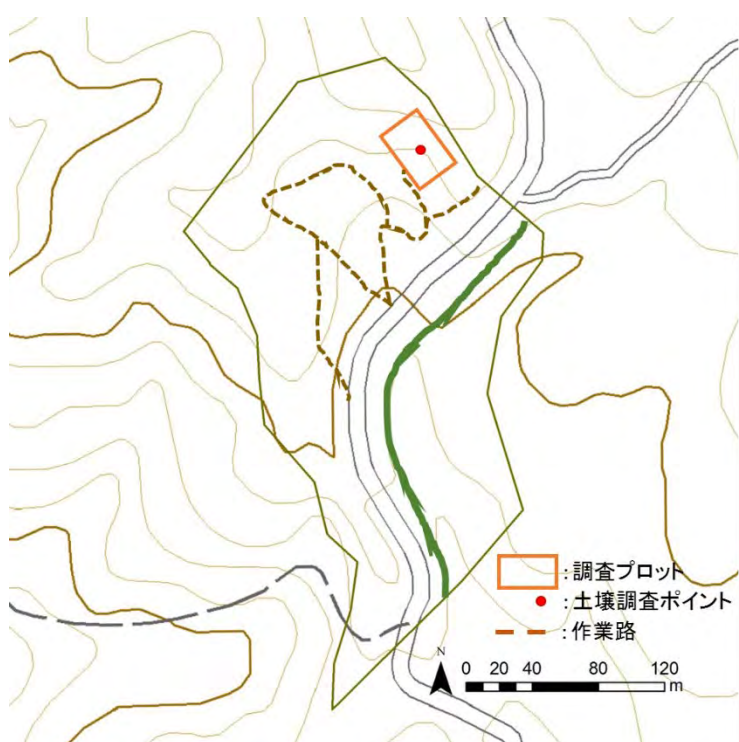
	層厚	土色				土壌構造	土性	石礫率 (%)	堅密度		備考
		色相	明度	彩度	土色名				指圧	硬度計	
A0層	0.5cm										伐採後2年でADR/はほ分解
A層	0～18cm	10YR	2	/ 3	黒褐色	粒状・団粒状	壤土	0	しょう	7	粒状一部団粒根系混入 比較的多い
B1層	～40cm	10YR	4	/ 4	褐色	塊状	埴質壤土	0	やや堅	15.8	
B2層	～45cm	10YR	5	/ 6	黄褐色	塊状	埴質壤土	0	やや堅	15.2	

※中山式土壌硬度計

(3) 福島県スギ(当年生苗)

①調査地の概況

表 5-23 植栽地情報(福島県_スギ)

調 査 地		福島県いわき市	
国 有 林 名		小久田国有林 106 ぬ	
樹 種		スギ	
		当年生苗区	2 年生苗区
造林情報	苗 種	コンテナ苗 150cc (生産者：E 氏)	
	面 積	0.61ha	
	植栽年月日	平成 29 年 5 月	
	植 栽 本 数	1,248 本	
	獣 害 対 策	無	
	施 業 履 歴	伐 採：平成 28 年 9 月～12 月 地拵え：平成 29 年 4 月（大型機械使用）	
植栽地情報	標 高	689m	
	斜面方位	SSW205°	
	最大傾斜角	19°	
			

調査地は、地拵えが丁寧に行なわれており、枝条等は作業路沿いにまとめられている。
調査区内においても、枝条や岩等はない。



写真 5-2 4 遠景写真（黄色枠が調査区）（平成 30 年度撮影）



写真 5-2 5 調査区（平成 30 年度撮影）



写真 5-2 6 植栽木（平成 30 年度撮影）

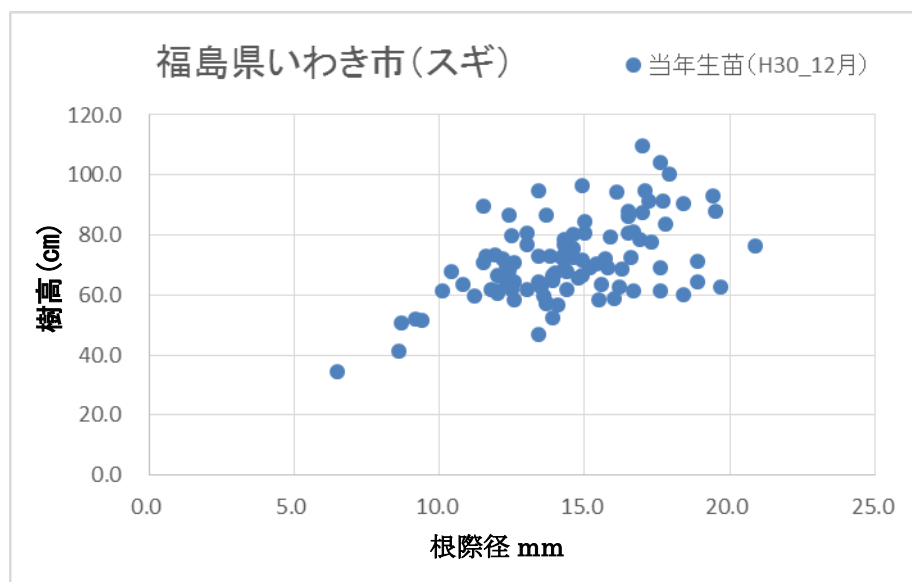
②-1 植栽木の調査結果（平成 30 年度調査）

本調査地においては、当年生苗のみの植栽がされており、2年生苗区の設定はない。2018年5月植栽であることから、1成長期間を経過した状態での数値である。ウサギ等による獣害がやや見られる。

表 5-24 植栽木データ

調査日	平成 29 年 12 月 27 日
生育本数/調査本数	100/101 本
平均根際径 (mm)	14.4 (標準偏差 2.66)
平均樹高 (cm)	71.5 (標準偏差 13.38)
平均形状比	50.3 (標準偏差 8.76)
平均樹冠幅 (cm)	66.6 (標準偏差 12.45)

※生育本数＝調査本数－枯死・消失本数



※生存木のみのデータを使用

図 5-14 植栽木の形状

表 5-25 活着状況

生存	当年生苗 100 本
獣害	9 本 (原因：ウサギ)
枯死	0 本
消失	1 本
主軸枯損	0 本

②-2 植栽木の調査結果（令和元年度夏調査）

旺盛に生育している。今季新たに 1 本食害木が消失していたが原因は不明である（表 5-27）。

表 5-26 生育木データ

調査日	令和元年 7 月 26 日
生育本数/調査本数	99/101 本（今季 1 本消失）
平均根際径（mm）	24.4（標準偏差 5.07）
平均樹高（cm）	117.6（標準偏差 20.33）
平均樹冠幅（cm）	93.4（標準偏差 11.69）

※生育本数＝調査本数－枯死・消失本数

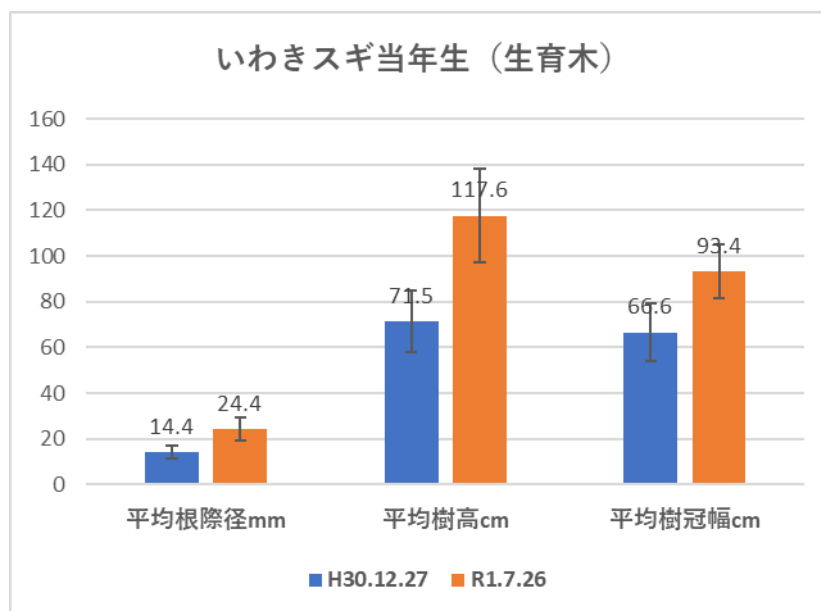


図 5-15 成長状況（生育木）

表 5-27 活着状況

生存	当年生苗 99 本
獣害	8 本（原因：ウサギ）
枯死	1 本
消失	1 本（原因不明）
主軸枯損	1 本

表 5-28 健全木データ

調査日	平成30年12月27日	令和元年7月26日
健全木本数/調査本数	91/101本	90/101本
平均根際径 (mm)	14.5 (標準偏差2.69)	24.3 (標準偏差5.20)
平均樹高 (cm)	71.0 (標準偏差13.91)	118.3 (標準偏差20.45)
平均樹冠幅 (cm)	65.8 (標準偏差12.23)	93.3 (標準偏差11.99)

食害木等を除いた健全木で比較したものが図 5-16 である。食害本数が少ないため、生育木のデータと大きな差はない。

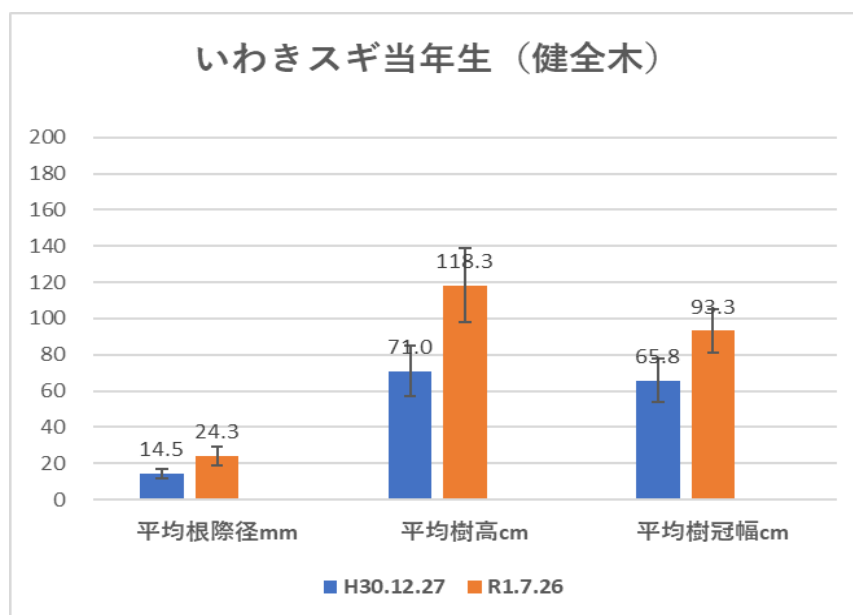


図 5-16 成長状況（健全木）



写真 5-27 生育状況

②-3 競合植生の状況調査結果

本調査区は、低木層（50～150cm）の被度は40%、クマイチゴ、タラノキ、ヤマザクラが優占種である。特に、タラノキとクマイチゴは旺盛に繁茂しており、一部ではあるが植栽木を被圧している状況が見られた。

■低木層（50cm～150cm）			■優占順位上位3種について5本程度		
種名	被度%		種名	高さcm	樹冠幅cm
クマイチゴ	40		クマイチゴ	130	120
タラノキ			〃	120	110
ヤマザクラ			〃	130	120
イタヤカエデ			〃	150	90
ヤマウルシ			〃	90	80
ヌルデ			タラノキ	100	110
ハクウンボク			〃	95	110
ミズナラ			〃	90	140
ヤマハギ					
ムラサキシキブ					
アカマツ			ヤマザクラ	120	100
			〃	120	150
			〃	110	110
			〃	140	140
			〃	140	130
■草本層（50cm以下）			■C区分結果		
種名	被度		C1	59%	
ササsp	50		C2	22%	
ツタウルシ			C3	14%	
クマイチゴ			C4	5%	
タケニグサ					
ススキ	(10%は植生なし)				
ヤマハギ					



写真 5-2 8 競合植生の状況（雑草木は旺盛に繁茂）



写真 5-2 9 競合植生の状況（タラノキ、クマイチゴが競合）



写真 5-3 0 競合植生の状況（クマイチゴに被圧されている）

②-4 植栽木の調査結果（令和元年度冬調査）

今季、主軸枯損木が1本増えたが、食害木が枯損したものである。成長状況は良好である（表5-30）。

表 5-29 生育木データ

調査日	令和元年 11 月 26 日
生育本数/調査本数	99/101 本
平均根際径 (mm)	34.2 (標準偏差 6.28)
平均樹高 (cm)	164.0 (標準偏差 39.06)
平均樹冠幅 (cm)	104.8 (標準偏差 16.42)

※生育本数＝調査本数－枯死・消失本数

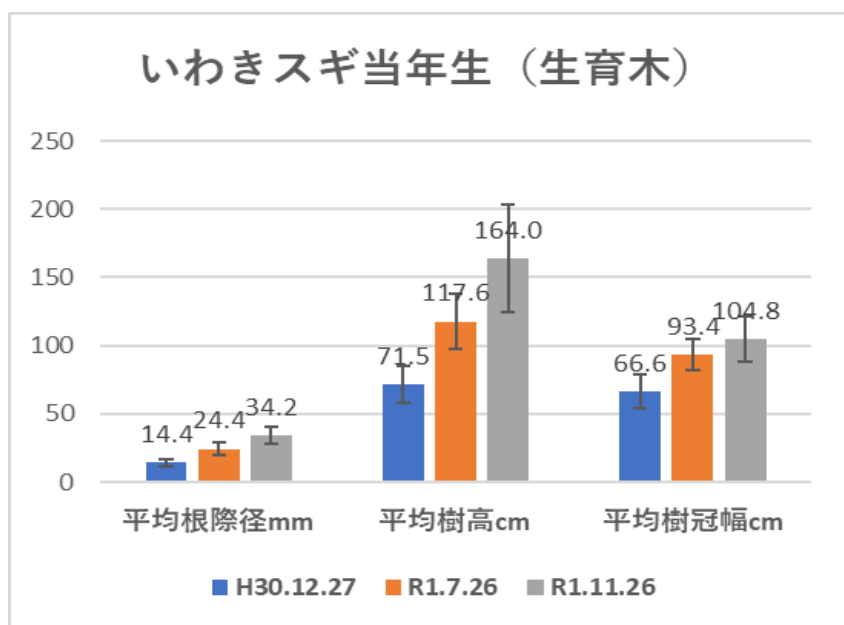


図 5-17 成長状況(生育木)

表 5-30 活着状況

生存	当年生苗 99 本
獣害	7 (原因：ウサギ)
枯死	1 本
消失	1 本
主軸枯損	2 本

食害木等の被害木を除いた健全木の成長は、被害木が少ないこともあり、生育木とあまり変わらない。

表 5-3 1 健全木データ

調査日	平成30年12月27日	令和元年7月26日	令和元年11月26日
健全木本数/調査本数	91/101本	90/101本	90/101本
平均根際径 (mm)	14.5 (標準偏差2.69)	24.3 (標準偏差5.20)	34.1 (標準偏差6.07)
平均樹高 (cm)	71.0 (標準偏差13.91)	118.3 (標準偏差20.45)	166.7 (標準偏差34.83)
平均樹冠幅 (cm)	65.8 (標準偏差12.23)	93.3 (標準偏差11.99)	105.6 (標準偏差15.98)

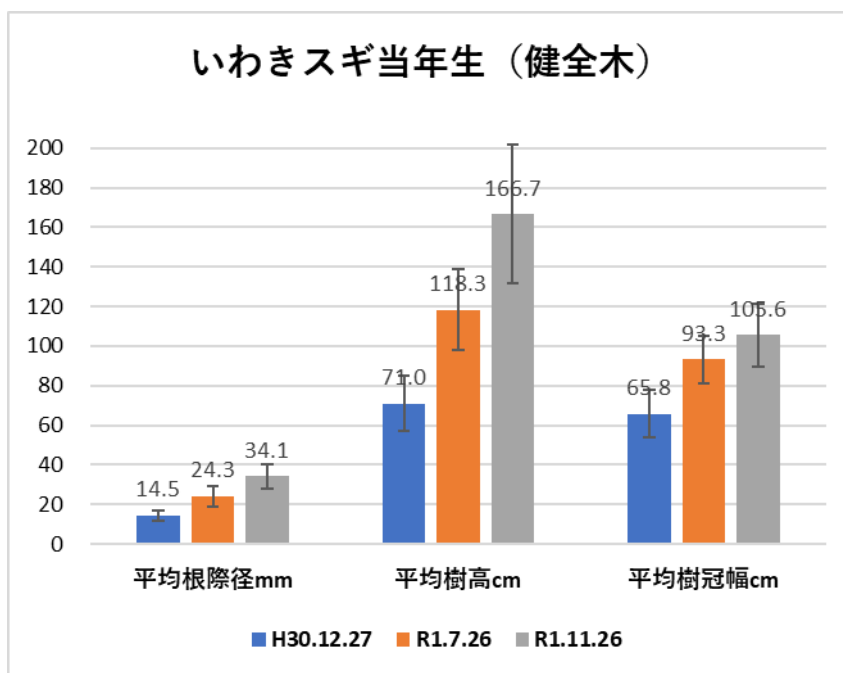


図 5-1 8 成長状況（健全木）



写真 5-3 1 生育状況（健全木）

③ 土壌調査結果（平成 30 年度調査）



写真 5-3 2 地表面の状態



写真 5-3 3 土壌断面

表 5-3 2 土壌断面調査結果

	層厚	土色				土壌構造	土性	石礫率 (%)	堅密度		備考
		色相	明度	彩度	土色名				指圧	硬度計	
A0層	3～0cm										
A層	0～14cm	7.5TR	2	/1	黒色	団粒状	埴質壤土	0～1	軟	14.4	ひげ状の根が多い。 腐植にすこぶる富む。
A2層	14～19cm	7.5YR	3	/2	黒褐色	団粒状	埴質壤土	0～1	軟	15.6	ひげ状の根が少しある。 腐植が少しある。
B層	19～ cm	7.5YR	4	/6	褐色	カベ状	埴土	0～1	軟	12.8	

※中山式土壌硬度計